

# News Release

本資料は 2015 年 2 月 10 日に BASF 本社(ドイツ)で発表されたプレスリリースの抄訳です。

## BASF、オープンイノベーションコンテストを開始 エネルギー貯蔵のアイデアを募集

2015 年 2 月 18 日

- 受賞者には 100,000 ユーロを授与
- アイデア募集は 2015 年 6 月 2 日まで
- 150 周年記念の共創プログラムの一環
- 優れたコンセプトには BASF との共同研究プロジェクトのチャンス

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、2015 年 2 月 9 日からオープンイノベーションコンテストを開始しました。テーマは、「再生可能エネルギーを利用したエネルギー貯蔵」で、持続可能な技術アイデアを募集します。企業や科学者、ベンチャー企業、研究家とともに、BASF は長期的に電力を貯蔵できる効率的かつ経済的に実現可能な、また投資コストが低いソリューションを追求しています。

世界各地で、多くの電力が再生可能エネルギーから生産される傾向がありますが、太陽光や風力から生産される電力は天候や時間、季節に左右されます。継続的に電力を供給するためには、消費者のもとへ届ける前に、再生可能エネルギーから生産される電力を貯蔵しておく必要があります。しかしこれまでのところ、余剰エネルギーの貯蔵は経済的に実現していません。BASF はこれを 150 周年記念として実施している共創(コ・クリエーション)プログラムの一環として、取り組みたいと考えています。

アイデアはインターネット上(NineSights, [www.ninesigma.com/](http://www.ninesigma.com/))で 2015 年 6 月 2 日まで応募可能です。BASF の専門家や外部のスペシャ

リストから構成される審査員が最も優れた提案を選び、最大 5 名の受賞者を決定します。受賞者の発表は 2015 年 11 月の予定で、各受賞者には 100,000 ユーロが賞金として授与されます。また、受賞者にはそれぞれのアイデアに基づき、BASF と共同研究を行う機会が設けられます。

150 周年記念として実施している共創(コ・クリエーション)プログラム「クリエイタースペース™」は、インターネット等を通じて議論を行うための革新的なプラットフォームであり、この他にもサイエンスシンポジウムが開催予定です。このプログラムを通じて新たなアイデアを集め、「スマートエネルギー」、「食品」、「都市生活」の 3 つのテーマに基づいて議論を展開しています。

オープンイノベーションコンテストに関する詳細は、以下をご覧ください。

[www.basf.com/energy-contest](http://www.basf.com/energy-contest) (英語のみ)

#### ■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は 2015 年、創立 150 周年を迎え、これまで以上に化学でいい関係をつくっていきます。製品ラインは、化学品、プラスチック、高性能製品、農業関連製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASF は、世界をリードする化学会社として、経済的な成功、社会的責任、そして環境保護を同時に実現しています。また、BASF は科学とイノベーションを通して現代社会や将来のニーズを提示しながら、ほぼすべての産業のお客様を支援しています。BASF の製品とソリューションは、資源の確保に貢献し、栄養価の高い食品を提供するとともに、生活の質の向上に寄与しています。BASF は「私たちは持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります」を企業目標に掲げ、これらの活動を実施しています。2013 年の売上は約 740 億ユーロで、従業員数は約 11 万 2000 人です。BASF の詳しい情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com) (英語)、[newsroom.basf.com](http://newsroom.basf.com) (英語)、[www.japan.basf.com](http://www.japan.basf.com) (日本語)をご覧ください。